令和４年２月１日

白河第二小学校 保護者　様

白河市立白河第二小学校長　井上　久仁夫

令和３年度学校評価アンケート結果について

余寒の候　保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度の１２月に保護者の皆様にご協力いただきました学校評価アンケートの結果を、児童・教職員のアンケート（自己評価）と合わせまして、下記のとおりお知らせいたします。学校評価アンケートの結果を受けて、さらに本校の教育を充実させていきたいと考えております。今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、この結果は、本校ホームページにも掲載いたします。

記

＊　評価実施日　令和３年１２月

＊　調査対象　　児童　　回収率　　９７　％

保護者　回収率　　９３　％（保護者は児童一人につきそれぞれ回答）

教職員　回収率　１００　％

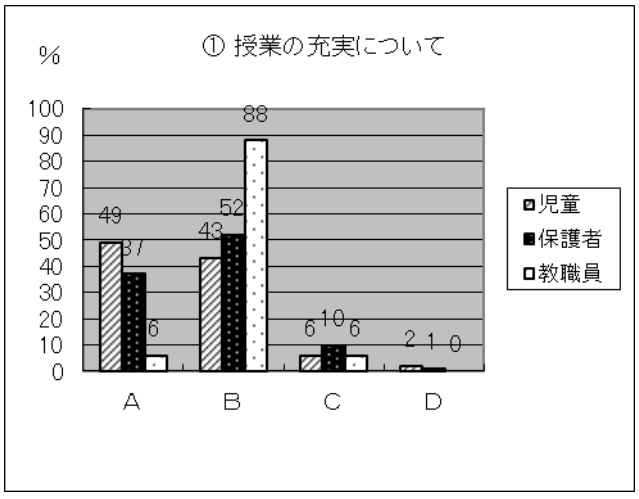
A　とてもよくあてはまる。できている。
B　だいたいできている。
C　あまりできていない。
D　ほとんど、または、まったくできていない。

＜問１　授業の充実について＞

児童　　授業では、よく考えたり発表したりして、本気で取り組んでいますか。

保護者　　お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。

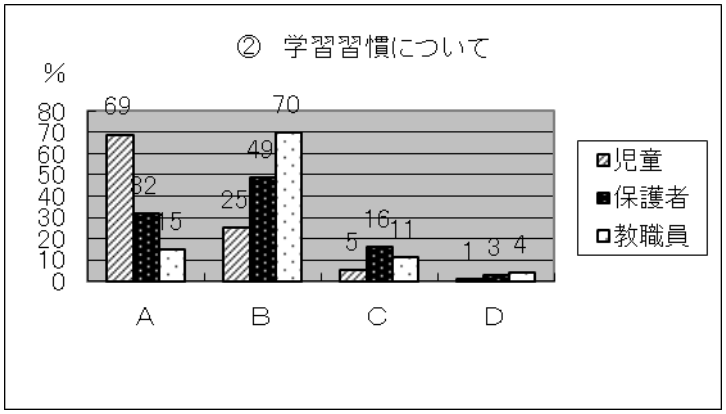
教職員　　教材研究を充実させ、子どもの力が伸びる授業をしている。



児童の９２％（昨年度比＋１％）、保護者の８９％（昨年度比－２％）、教職員の９４％（昨年度比－２％）がA及びBの評価である。教職員は、全員が授業を見せ合い、高め合っているが、まだめざす授業に至っていないという思いである。来年度の研究公開に向けて、さらに「わかる、できる」授業の実現をめざして、日々授業改善を図っていきたい。

＜問２　学習習慣について＞

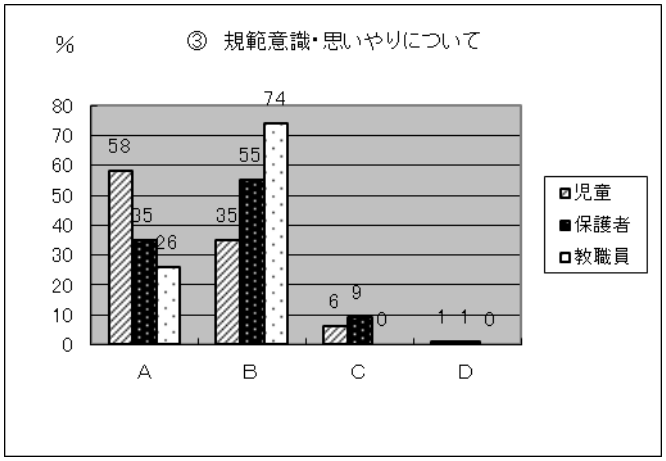
児童　　宿題や家庭学習を忘れずにやっていますか。
保護者　　お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。
教職員　　家庭学習の習慣化が図られるよう工夫して指導している。



児童の９４％（昨年度比＋３％）、保護者の８１％（昨年度比－３％）、教職員の８５％（昨年度比－６％）がＡ及びＢの評価である。「ふくしまの家庭学習スタンダード」と「家庭学習のてびき」を活用しながら、さらに家庭学習が充実していくように取り組んでいきたい。また、学校と家庭との連携を深め、家庭学習実施１００％をめざしていく。

＜問３　規範意識・思いやりについて＞

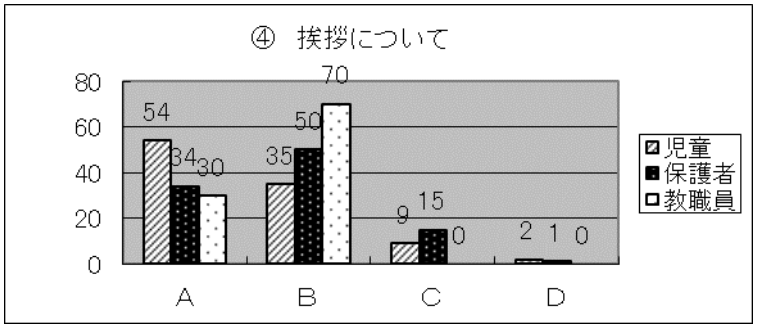
児童　　きまりを守り、まわりの人の気持ちを考えて行動していますか。
保護者　　お子さんは、きまりを守り、周りの人の気持ちを考えて行動している。
教職員　　規範意識や思いやりの心を育てるよう工夫して指導している。



児童の９３％（昨年度比＋１％）、保護者の９０％（昨年度比－２％）、教職員の１００％（昨年度と同じ）がＡ及びＢの評価である。児童・保護者・教職員のいずれも概ね高い割合になっているが、規範意識のさらなる向上に向けて、今後も「特別の教科道徳」や生活の中で、児童の規範意識・思いやり等の指導にあたっていきたい。

＜問４　あいさつについて＞

児童　　元気にあいさつをしていますか。
保護者　　お子さんは、元気なあいさつをしている。
教職員　　元気なあいさつについて指導している。



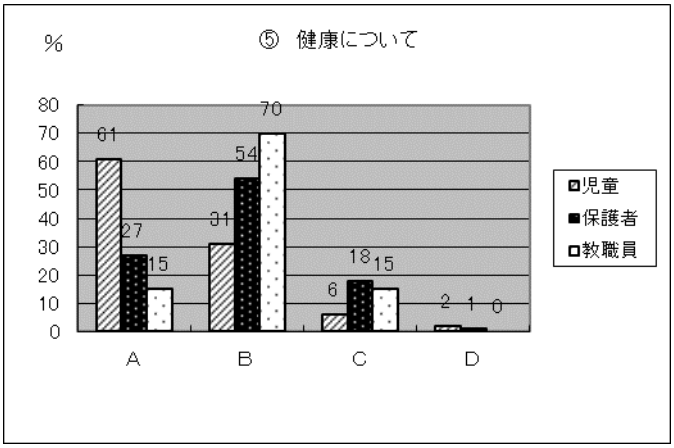
児童の８９％（昨年度と同じ）、保護者の８４％（昨年度と同じ）、教職員の１００％（昨年度と同じ）がＡ及びＢの評価である。すべて昨年度と同じ数値であるものの、個人差が見られること、校外ではなかなか元気にあいさつできないことが課題ととらえている。「あいさつ推進運動」の工夫や根気強い指導によって、さらにあいさつであふれる学校をめざしていきたい。

＜問５　健康について＞

児童　　運動や食事など健康に気をつけて生活していますか。

保護者　　お子さんは、運動や食事など健康に気をつけて生活している。

教職員　　運動や食事など健康に過ごしていくことについて指導している。



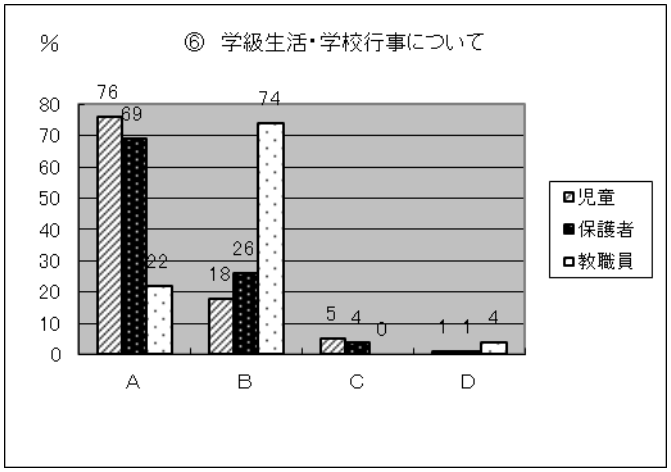
児童の９２％（昨年度比＋１％）、保護者の８１％（昨年度比－３％）、教職員の８５％（昨年度比－６％）がＡ及びＢの評価である。保護者や教職員の数値が下がっていることの一因には、新型コロナウイルスの影響があるものと思われる。今後も学校と家庭とで連携し、感染症対策に努めながら、運動量の確保や規則正しい食事などで、児童の健康の維持・増進を図っていきたい。

＜問６　学級生活・学校行事について＞

児童　　学級での生活や学校行事は楽しいですか。

保護者　　お子さんは、学級での生活や運動会・音楽会などの学校行事を楽しいと言っている。

教職員　　学級での活動や学校の行事が楽しくなるよう工夫している。



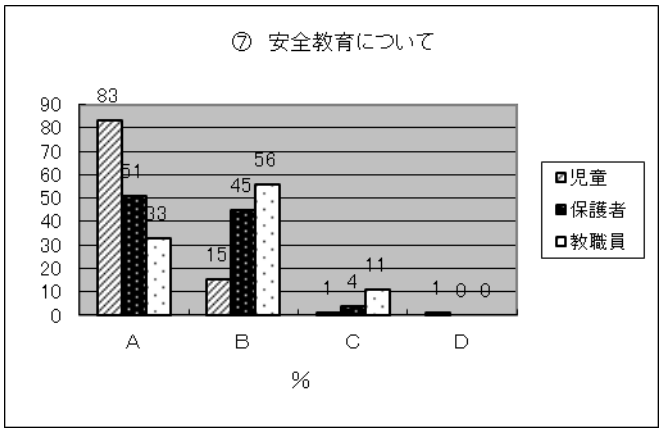
児童の９４％（昨年度比＋１％）、保護者の９５％（昨年度と同じ）、教職員の９６％（昨年度比＋１％）がＡ及びＢの評価である。新型コロナウイルスによる行事の中止・変更もあったが、感染症対策を講じながらできる限りの行事を実施してきたことが数値に表れたと考える。今後も、保護者・地域とともに、充実した学校生活の実現に努めていきたい。

＜問７　安全教育について＞

児童　　火事や地震、交通事故、不審者などから、自分の命を守ることに気をつけていますか。

保護者　　災害（火災や地震）への対応、交通事故の防止、不審者等から身を守ることなど、学校での安全指導はなされていると思いますか。

教職員　　地震、災害、交通事故、不審者等から身を守ることについて日常的に指導している。



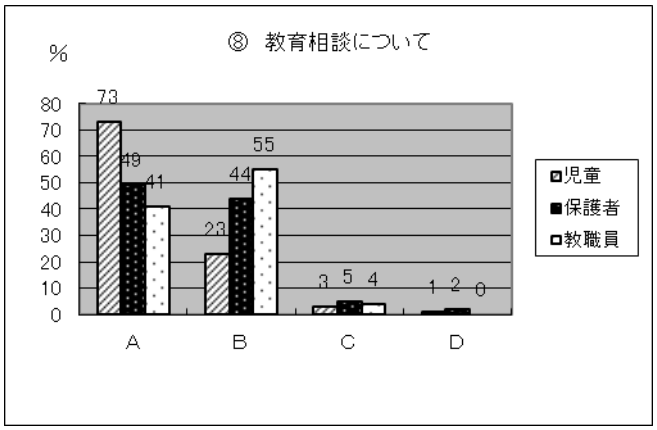
児童の９８％（昨年度比＋２％）、保護者の９６％（昨年度と同じ）、教職員の８９％（昨年度比－２％）がＡ及びＢの評価である。今年度は、昨年度実施できなかった不審者対応訓練や２度の避難訓練を行い、児童の安全に対する意識を高めることができた。今後も震災の教訓を忘れずに、安全教育の徹底、実効性のある避難訓練等、安全・安心な学校づくりのために、工夫した取組をしていきたい。

＜問８　教育相談について＞

児童　　学校の先生方は、あなたの悩みや相談に親切に答えてくれていますか。

保護者　　教職員は、お子さんの悩みや相談に親切に答えてくれていると思いますか。

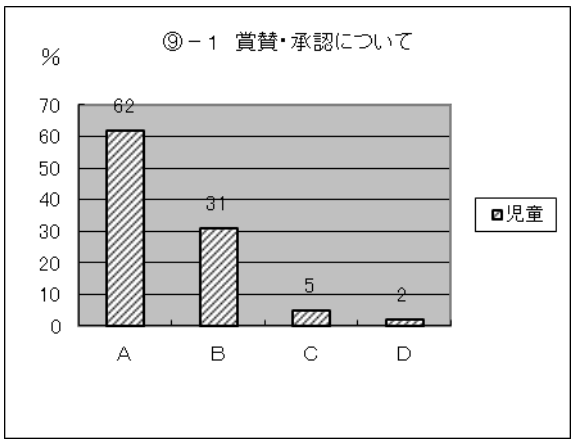
教職員　　悩みや相談について積極的に対応している。



児童の９６％（昨年度比＋１％）、保護者の９３％（昨年度と同じ）、教職員の９６％（昨年度比－４％）がＡ及びＢの評価である。児童との対話や保護者との連絡を密にしてきたことが、いずれの対象においても高い数値になったことにつながっているものと考える。今後も、児童一人一人に向き合い、きめ細かな対応をしていく。

＜問９の１　称賛・承認について（児童）＞

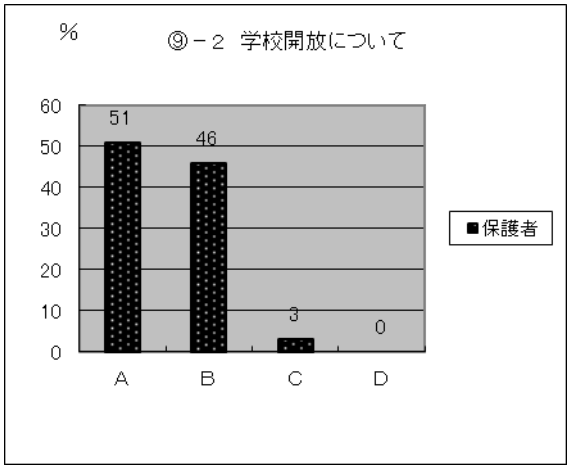
児童　学校の先生方は、学習でがんばっているあなたのことを励ましてくれますか。



児童の９３％（昨年度比＋１％）がＡ及びＢの評価である。教職員は、児童一人一人の成長に目を向け、小さな成長にも気づき、賞賛できるように努めている。これからも児童のよさに目を向けながら、児童の自己肯定感を高めていきたい。また、児童の成長を喜び合える教職員集団をめざしていきたい。

＜問９の２　学校開放について（保護者）＞

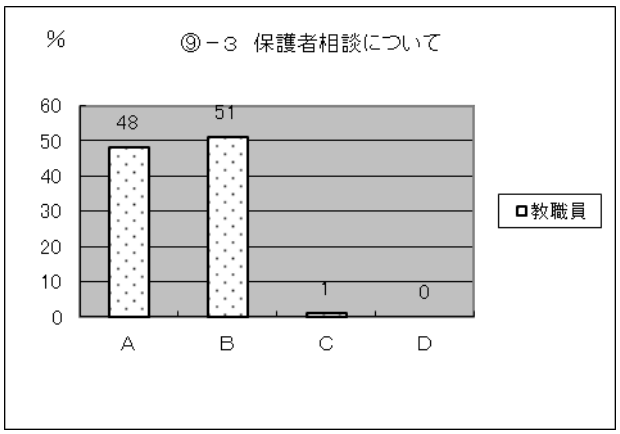
保護者　　地域住民や保護者の方が学校参観できる機会や懇談会など、学校を開く努力はなされていると思いますか。



保護者の９７％（昨年度比＋３％）がＡ及びＢの評価である。新型コロナウイルスの影響で例年どおりとはならない部分もあったが、保護者や地域の温かい理解と協力を得ながら、できる限り学校を開いてきたことを評価いただいたと感じている。今後も充実した学校開放ができるよう努めていく。

＜問９の３　保護者相談について（教職員）＞

教職員　　保護者からの連絡相談に適切に対応し、子どもの立場を尊重する姿勢で指導にあたっている。



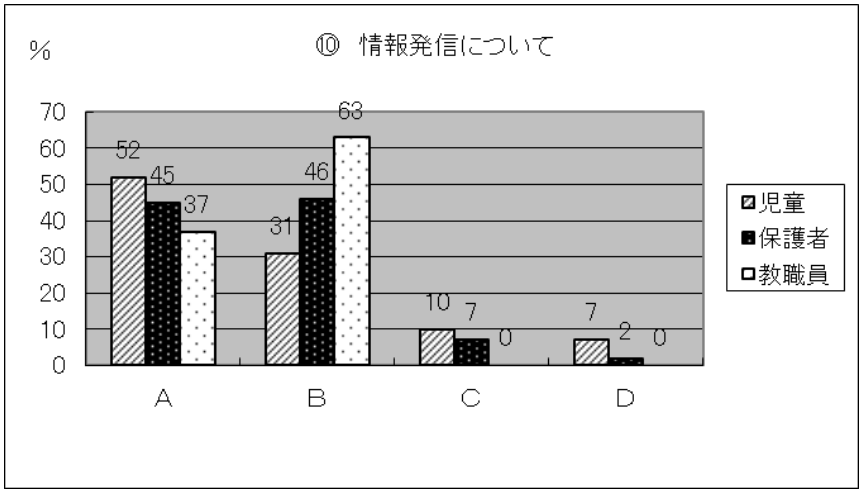
教職員の９９％（昨年度比－１％）がＡ及びＢの評価である。児童のことはもちろん、新型コロナウイルスの不安などにも丁寧に対応することを意識してきた。今後も継続してきめ細かな連絡相談体制に配慮し、保護者とともに児童の健全な育成に努めていく。

＜問10　情報発信について＞

児　童　　学校からのおたよりをよく見ていますか。

保護者　　教育活動や子どもたちの様子について、各種のおたよりやホームページなどにより、知りたいことが適切に情報発信されていると思いますか。

教職員　　各種のおたよりやホームページなどの学校からの情報発信は、ニーズに応える内容になっている。



児童の８３％（昨年度比－１％）、保護者の９１％（昨年度比－４％）、教職員の１００％（昨年度比＋４％）がＡ及びＢの評価である。教育活動の充実、児童の安全確保等のために、今後も各種通信の発行、メールの発信、ホームページの活用に努めていきたい。